



関西支部

「環境学習都市・にしのみや」

関西支部編集委員 寺嶋 正明

西宮の宮水と呼ばれる良質の地下水と酒造り，甲子園の所在地としても知られる兵庫県西宮市は2003年12月14日に全国初の「環境学習都市宣言」を行った。西宮市では西宮市環境都市推進グループが中心となり，NPO法人，大学，企業の協力を得て，「西宮市に住み，学び，働くすべての人々の協働で，環境学習を通じた持続可能なまちづくりを進めていくため」に，環境学習に関連したユニークな活動を展開している。日本生物工学会の各支部においても，中高生，一般市民を対象とした広報活動などに取組んでいるが，西宮市の先駆的な試みは大いに参考になると考え，紹介させていただくことにした。

環境学習都市宣言と推進事業

西宮市では地域住民や酒造メーカーなどの地場産業が石油コンビナートの進出や海岸の埋め立て事業計画に対して，地域の自然や子供たちの教育環境を守るための取り組みを行い，国道43号線での道路公害や航空機騒音などの生活環境を守るための取り組みを市民，行政が連携

して進めてきた歴史を持っている。1992年には後述する地球ウォッチングクラブ（EWC）の活動がスタートし，環境教育，環境学習における事業展開が進められ，昨年環境学習都市宣言がなされた。西宮市の環境保全型社会構築を目指した基本施策の中で，環境学習都市推進事業は都市計画・住宅政策，農業振興計画，生涯学習などを含む西宮市総合計画（1999年），西宮市環境計画（1995年），などと有機的に連携しており，環境教育・環境学習はまちづくり支援事業の一部として位置づけられている。

地球ウォッチングクラブ（EWC）

1992年に環境学習事業として開始された活動は単に知識を伝えるだけでなく，その活動を通じて具体的な行動変革につながることを目的に，NPO法人こども環境活動支援協会（LEAF）が中心となって，西宮市内の小中学生，中学生を対象にユニークな活動を行っている。

西宮市内の小中学生24,000人に図1に示すような「エコカード」を配布し，子供たちが環境学習や活動に参加すれば「エコカード」に「エコスタンプ」を押してもらえて所定の数スタンプがたまると「アースレンジャー」として認定されるしくみとなっている。たとえば，地域が行う自然に親しむ活動や町の美化運動に参加したり，リサイクル商品の購入，リサイクル活動への協力を行っている文具店での文房具の購入や，市の環境関連施設の見学などを行ったりすることで「エコスタンプ」を押してもらうことができる。低学年では保護者が一緒になって活動してもらえよう「アースレンジャーファミリー」認定制度を設け，中学年では子供たちが身近にいる大人

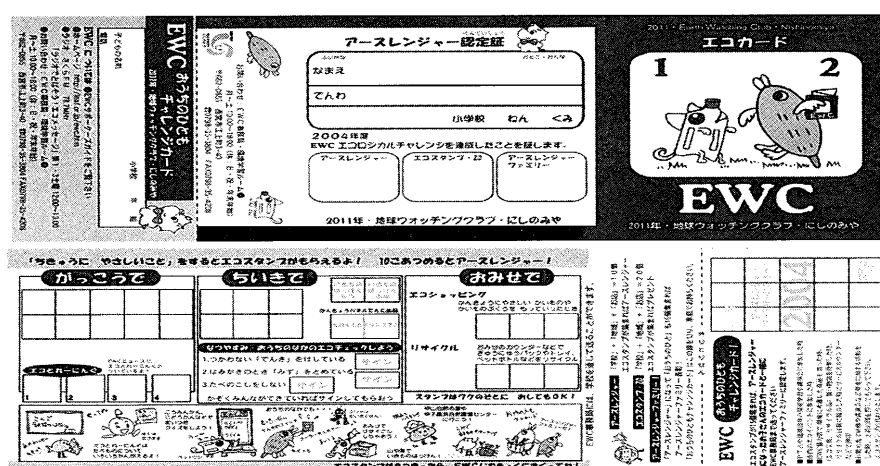


図1. 低学年用エコカード
(低学年用，中学年用，高学年用に分かれている)

から環境を守るために行っている工夫やアイデアを集めるエコ・メッセンジャー活動を進めている。クラス全員でエコメッセージを集めて、かつクラス全員がアースレンジャーに認定されると西宮コミュニティ放送（FM 放送）で放送される特典がある。また、高学年ではクラス全員がエコスタンプを集めて、所定の数を集めると「エコトレード活動資金」5000円が支給される。この活動資金は環境学習に関連する活動に利用することができる。それぞれの学年層に合わせて興味を持って学習できるように内容が工夫されている。

環境学習への大学、企業の協力もこの事業を進める大きな支えとなっている。小学校の低学年では自分の住む町の自然環境、社会環境を学習するが、西宮市では（財）河川環境管理財団の助成を受け、指導者用資料集「西宮の川を学ぶ」を作成している。この資料の執筆にはNPO 法人こども環境活動支援協会、西宮市自然保護協会、地元住民のメンバーと共に神戸女学院大学人間科学部教員および大学院生、近畿大学大学院生、西宮市立高校教員などが参加している。

また、環境学習支援プログラムとして企業30社の環境問題に取り組む担当者が小学生、中学生を対象とした環境学習支援を行っている。6つのテーマに分かれ、各企業の担当者が協力して、事前に教員と授業内容を検討して授業プログラムをつくり、直接西宮市内の小中学校に向いて授業を行うものである。6つのテーマは「服の一生」、「食は生命の輝き」、「住まいに生命を」、「くらしとエネルギー」、「西宮・お酒とビンのものがたり」、「つながれエコ文具、エコ文具からはじめよう」で、いずれの授業プログラムも原料から生産、回収、再生（再利用）へつながる資源循環の考え方を身近な製品を例にわかり易く説明できるように工夫されている。たとえば、「西宮・お酒とビンのものがたり」ではビンの金型製造からビンの製造、酒造メーカーでのビン詰め、販売店から、消費者までの道筋とビン洗浄によるリターナブル・リサイクルと分別回収してカレット製造を経てビン製造にもどるワンウェイ・リサイクルを学ぶプログラムである。小学校3、4年生にも理解できるよう、クイズや模型を利用した学習授業内容となっている。

環境学習都市にしのみや・パートナーシッププログラム

このプログラムでは西宮市が実施する環境学習都市事業に事業者が協力・協賛することや、事業者が独自に行う事業等を西宮市が認定するものである。これまでに紹介した指導者用資料集や企業の環境学習支援プログラムなどもこの認定を受けている。それ以外では、今津湾に停泊させた大型海水浄化船による海水浄化実験、生活協同組合コープこうべのアクションプログラム、小型風力発電機の貸し出しおよび講師派遣を含む学習プログラムの実施、津門川の環境保全に向けての調査・研究、甲子園浜の生態調査などが認定されている。

西宮市ではここに紹介した以外にも環境学習についてのシンポジウムや講演会、市民による自然調査など、地域住民、NPO 法人、大学、企業と協力して多様な環境学習プログラムを推進している。バイオテクノロジーと市民生活の関係においては、遺伝子組換え食品、遺伝子治療やバイオレメディエーションなど市民の理解と協力を得ないと進めることが困難になってきている分野がある。また、昨今の理科離れを憂い、バイオテクノロジー、バイオエンジニアリングを志向する学生を増やしたいという思いも多くの本会会員がもっている。ここで紹介した西宮市の行政、NPO 法人、大学教員、小中学校教員、企業が有機的なつながりを持って環境学習をすすめる姿は大いに参考になると考えられる。

これに関連した情報は宣言文も含めて、西宮市のホームページ

(<http://kusunoki.nishi.or.jp/homepage/kankyotop/kanhozen/>)を参照していただきたい。

最後にいろいろお話をしていただき、資料の提供を頂いた西宮市都市環境推進グループの方々にお礼申し上げます。

参 考

- 1) 西宮市環境学習都市宣言記念シンポジウム開催結果報告書、西宮市
- 2) EWC 2003 年度活動報告書、NPO 法人こども環境活動支援協会
- 3) 企業ができるこどもたちへの環境学習支援、NPO 法人こども環境活動支援協会